

将来のエネルギー科学技術に向けた パワーレーザーと 高エネルギー密度科学の役割と展望

2022年
2月3日[木]
13:00-17:30

日本学術会議講堂とオンラインのハイブリッド

●定員：日本学術会議講堂 150人※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため変更の可能性があります
【アクセス】東京メトロ千代田線「乃木坂」駅 5出口 東京都港区六本木7-22-34

オンライン 300人

●参加費：無料 どなたでも参加いただけます ※事前に参加申し込みが必要です



参加申し込みはこちら

<https://www.optronics.co.jp/symposium/powerlaser/>

PROGRAM

13:00 開会

前半司会 犬竹 正明 | 日本学術会議連携会員/東北大学名誉教授
開会の辞 近藤 駿介 | 日本学術会議連携会員/原子力発電環境整備機構 理事長
挨拶 吉村 忍 | 日本学術会議 第三部 部長
高西 一光 | IFEフォーラム 座長
上坂 充 | 内閣府原子力委員会 委員長

13:15 講演 I

フォトリック結晶面発光レーザーの進展と展望
—究極の半導体パワーレーザーの実現を目指して—
野田 進 | 日本学術会議連携会員/京都大学大学院工学研究科 教授

エネルギー科学における
レーザープロセッシングの課題と展望
小林 洋平 | 東京大学物性研究所 教授

パワーレーザー・高エネルギー密度科学の課題と展望
兒玉 了祐 | 日本学術会議連携会員/大阪大学レーザー科学研究所 所長

14:45 後半司会 三間 冏興 | 日本学術会議連携会員/大阪大学名誉教授

講演 II

カーボンニュートラル実現に向けた
熱エネルギー利用の現状と展望
藤岡 恵子 | 日本学術会議特任連携会員/
株式会社ファンクショナル・フルイッド 代表取締役社長

エネルギー科学技術における
レーザー駆動量子ビームの利用
河内 哲哉 | 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 関西光科学研究所 所長

エネルギー最適化に向けた東芝の取り組み
落合 誠 | 東芝エネルギーシステムズ株式会社
エネルギーシステム技術開発センター ゼネラルマネージャー

16:00 総合討論

将来のエネルギー科学技術に向けた
パワーレーザー技術と
高エネルギー密度科学の役割と展望

●コーディネーター

笹尾 真実子 | 日本学術会議連携会員/東北大学名誉教授

●コメント

カーボンニュートラル実現に向けたレーザー技術の応用
久間 和生 | レーザー学会 会長/
国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 理事長

●パネリスト

岩田 夏弥 | 大阪大学高等共創研究院 准教授/
落合 誠/河内 哲哉/久間 和生/兒玉 了祐/
小林 洋平/野田 進/藤岡 恵子

17:25 閉会の辞 疇地 宏 | 日本学術会議連携会員/大阪大学名誉教授

17:30 閉会

●お問い合わせ

大阪大学レーザー科学研究室内 事務局
大阪府吹田市山田丘2-6
TEL : 06-6879-7987
E-mail : scj22@ile.osaka-u.ac.jp



公開シンポジウムの詳細はこちら

【主催】日本学術会議総合工学委員会 エネルギーと科学技術に関する分科会/
IFEフォーラム

【共催】大阪大学レーザー科学研究所/量子科学技術研究開発機構関西光科学研究所

【協賛】一般社団法人レーザー学会/一般社団法人プラズマ・核融合学会/一般社団法人日本物理学会/日本加速器学会/
光エレクトロニクスフォーラム/パワーレーザーフォーラム/日本フォトリック協会/光科学アライアンス

【協力】株式会社オプトロニクス社

